

＜自主調査事業：より良い社会システム構築に資する事業＞

1. 自治体・事業者によるスチール缶等の分別・再資源化状況調査
2. 社会的コスト削減に資する店頭回収の実態調査
3. “まち美化推進”に係る実態調査

1. 自治体・事業者によるスチール缶等の分別・再資源化状況調査を実施

- ・ スチール缶の分別収集・処理保管・再資源化状況を、自治体・リサイクル事業者、鉄鋼メーカー等の協力を得て実施しました。
 - アンケート回答自治体数： 725区市
 - アンケート回答鉄鋼メーカー等： 79事業所

2. 社会的コスト削減に資する店頭回収の実態調査を実施

- ・ 小売事業者等の協力を得て、スーパーにおける店頭回収・再資源化状況の調査を実施しました。
- ・ 「容器包装の多様な回収研究会」を立ち上げ、自治体とスーパーの連携による店頭回収状況の調査と研究を実施しました。
- ・ これらの調査・研究の結果をまとめた「民間回収ルート実態調査報告書」を発行、この冊子を活用した報告会を2014年8月に東京にて開催しました。



3. “まち美化推進”に係る実態調査を実施

- ・ 全国自治体からの情報提供ニーズに応え、全国まち美化推進連絡会議と連携して、まち美化に先進的に取り組む自治体の実態調査を実施しました。
- ・ 調査対象自治体等：
大分県豊後高田市、栃木県小山市、福島県会津若松市、大阪府高槻市、富士山

＜参考資料＞

- 「スチール缶リサイクル年次レポート2014」
- 「民間回収ルート実態調査報告書」
- 「Steel Can Age Vol. 32(9～10頁)」